



成隣だより

令和2年 1月 31日
第 10 号
昭島市立成隣小学校
校長 星野 典 靖

私メッセージのすすめ

副校長 原 善 哉

今回は、皆様と「私メッセージ」なる言葉について深めたいと思います。まずは、私の経験してきた、または聞いたことのある出来事を3つほど紹介します。読んでみてください。

1つ目。出掛ける前に、どうしても自分で靴下をはくんだと、うまくはけないのにむずかかって意地を張っている1歳児に、「ごめんね、本当は、自分ではけるまで待つてあげたいのだけれど、今日は電車に間に合わないの。はかせてもいいかな？」と声をかけた。1歳児はぐずらずに、納得し、出かけることができた。という話。

2つ目。とある中学校の校門前にある用水路で小学生が中学生を挑発しながらザリガニ釣りを楽しんでいる。トラブルも心配なので「帰りなさい」といっても、「大丈夫、大丈夫」と言って帰らない。そこで、「本当は君たちをここで遊ばせてあげたいけど、中学生とトラブルになるのも心配だし、私も会議があって君たちのことをずっと見てあげられなくて困っているんだ。悪いけど場所を変えてもらえないだろうか。」と言ってみた。すると、「そういうことなら、分かった。」と言って解散した。という話。

3つ目。毎日、「勉強しなさい！」と我が子に言う。「今やろうと思ったの!」「うそおっしやい、いつも、おんなじ言い訳じゃない!」と親子げんかになってしまう。そこで、このように言い換えた「今日の勉強の予定を教えてくれる?心配なんだ。」「今やろうと思ったの!」「そう、頑張ってるね。」「うん。」と、けんかにならなかった。という話。

いかがでしょうかこの三つ、本当ならばもめてしまうような場面ですが、もめずにすんでいます。この三つの言葉かけに共通しているものはいったい何なのでしょう。それは、自分の心の動きを、素直にそして丁寧に伝えているという点です。

実はこれを心理学用語で「私メッセージ」といいます。トマス・ゴードン博士の著書「親業」という書物にある用語で、「私メッセージ」の中には相手に対する「要求」や「攻撃」、「強制」がありません。ですから、聞く人がとても素直に受け止めることができます。イソップの童話を引用すれば、「北風と太陽」のまさに「太陽」の言葉なのです。

こんなすてきな言葉を私たち誰もが使えるようになると、「社会」「学校」「家庭の中」の争いごとが減っていき、「子育て」「教育」「お友達付き合い」などの場面では、おだやかに良い関係が築けると、「親業」の中には書かれています。

自分の心と対話をして、心や気持ちの動きだけを素直に相手に伝える。特に怒っているときは「怒り」の前にわいてきた「悲しさ・切なさ」だけを伝える練習をしていくと達人になれます。

「子育て」とはどんな職業にも負けず劣らない大切なお仕事です。しかし「子育て」真っ最中の皆さんが、学ぶための専門学校も大学もありません。「子育て」は自分で身に付けていくしかないのです。今回の「私メッセージ」は子育てを豊かにする技術の一つです。

これによって皆様の「子育て力」がアップし日々が潤っていったなら、とてもうれしく思います。成隣小学校は常に皆様とともに協力して、精一杯「子育て」に取り組んでまいりたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



日	曜	2月の学校行事
1	土	土曜補習
2	日	
3	月	全校朝会、委員会
4	火	たてわり遊び、ぐんぐん(1、4)
5	水	短縮4時間
6	木	新入児童保護者会
7	金	
8	土	土曜授業(公開はありません)
9	日	
10	月	短縮4時間授業
11	火	建国記念の日
12	水	短縮授業、清泉中学校見学(6)
13	木	挨拶運動(6)
14	金	〃
15	土	
16	日	成隣フェスティバル
17	月	全校朝会、クラブ
18	火	参観保護者会(低)、ぐんぐん(3、6)
19	水	
20	木	水曜時程。参観保護者会(3~5)
21	金	水曜時程、感謝の会・保護者会(6)、 けやき教室見学会(15:30)
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	ぐんぐん(2.5)
26	水	安全指導
27	木	児童集会(ユニセフ)
28	金	短縮5時間
29	土	

小学校合同展覧会について

図工専科 高島 絹子

先週、市公民館小ホールで昭島市小学校合同展覧会がありました。様々な作品が堂々とその存在感をアピールし、動の作品、静の作品など、それぞれが違った主張をし、見る人を魅了しました。児童は、日々の図工の授業でも、想像をふくらませ、形や色、素材を選び、どう表現するか感性をはたらかせています。どんな思いで表現したのかを知ると、より作品の良さにじみ出てきます。お子さんが持ち帰った作品を、ぜひ、何度も見つめて頑張りを見付けてあげてください。

2月の生活目標 「進んで仕事をしよう」

6年生社会科見学

担任 山田 淳子

1月10日(金)に江戸東京博物館と国会議事堂の見学に行ってきました。

江戸東京博物館では、江戸時代から現代までの生活や文化の様子が分かる展示を見学しました。人力車に乗ったり、前の車輪が大きな昔の自転車に乗ったりと、体験したりしながら楽しく学びました。

国会では、100年前の建造物を隅から隅まで見渡しながら、静かに見学しました。参議院本会議場に入った時は、解説を聞きながら、国会議員や議長の席、皇族の方々が座られる席を確かめるようにじっくり見ていました。緊張の中での見学でしたが、貴重な体験ができました。

4年生社会科見学について

担任 杉浦 佳代子

1月16日に、社会科見学で浅草と、中央防波堤に行ってきました。

浅草では、ボランティアガイドの方々の話を聞きながら、浅草寺の歴史やまちづくりの工夫などを、実物を見ながら学ぶことができました。

中央防波堤は、ごみの最終埋め立て地であり、あと50年でいっぱいになるというお話を聞き、子供たちはごみ減量、3R(リデュース・リユース・リサイクル)への一層の取り組みが必要であることを実感しました。

持久走週間について

担任 柳 飛鳥

1月20日~24日の5日間、持久走週間を行いました。「毎日〇周走ろう」「最後まで歩かないで自分のペースで走り続けよう。」「日本地図の持久走カードで都道府県をたくさん塗ろう!」など一人一人が目標をもって意欲的に取り組んでいました。

普段外で遊ぶことの少ない児童も友達と一緒に体を動かすことの楽しさに気付くよいきっかけになりました。持久走週間が終わった後も、冬の寒さに負けず、元気いっぱいに校庭で運動する子供たちの姿が見られます。